

Ⅰ 目指す学校像

帝塚山学院が設立にあたり提唱した「力の教育」を実現し、意志の力、情の力、知の力、躯幹の力といった、広い意味の力の漲った強い人物を育成する。

1. 活力ある人間の育成
2. 創造性豊かな人間の育成
3. 協調性ある人間の育成
4. 国際感覚豊かな人間の育成 を目標とする。

2 中期的目標

Ⅰ 教育力の強化

(1) 進路指導

- ① 生徒一人ひとりの進路実現
- ② 現役国公立大学合格者数の増加

(2) 学習指導

- ① 英語検定試験対策の実施
- ② ICT 機器の導入

(3) 生徒指導

- ① 基本的な生活習慣の確立、安心安全な学校生活の充実を図る。
- ② 清掃の徹底、挨拶の励行、遅刻の防止
- ③ いじめの防止、携帯電話の使用方法について
- ④ 交通安全指導の強化
- ⑤ 生徒指導の強化

(4) 特別活動

- ① 自主性のある活動の促進、学校行事・課外クラブ活動の充実
- ② キャリア教育の充実と大学見学の実施

2 組織力の強化

3 財務基盤力の強化

(1) 入学生の確保

(2) 施設の整備

【自己評価アンケートの結果と分析・学校運営協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校運営協議会委員からの意見・感想
【学校運営（Q1～Q15の15項目）】 ・「入学者を確保するための十分な募集広報活動を、組織的に行っている」・・・97.7%（昨年度より4.2%増） ・「学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている」・・・97.7%（昨年度より4.2%増） ・「保護者へ授業を公開している」・・・97.7%（昨年度より4.2%増） ・「年間を通じた教育計画（シラバス）を各教科別に立てて実践している」・・・86.3%（昨年度より5.0%減） ・「教育課程は学習指導要領に沿っている」・・・84.1%（昨年度より5.0%減） ・「同窓会、後援会とのネットワークを確立し、学校運営で必要に応じた支援をあおいでいる」・・・79.6%（昨年度より3.6%増） 肯定率が90%台は2項目、80%台は2項目、70%台は1項目である。 ホームページを日々更新し、学校生活の様子を配信していること、授業参観を年2回実施していることなどにより高評価が得られたと考えられる。 また、同窓会の協力を得て11月に実施する職業探究についてもより回数、内容とも増やす予定である。	・教員の負担感について、現場で解消できないものか、またご質問したい。 ・お出かけISCで大阪地方検察庁へ。 司法試験受験者数も減っているので、少しでも興味を持ってくれる人が増えてくれたらよいと思っている。 ・いい意味で手作り感を感じた。 ・自分の子どもも通わせたいと思った。 ・先日は学校説明会と並行しての協議会の運営、お疲れ様でした。この時世で説明会の追加実施は貴校のたゆまぬ運営改善向上への取り組みの賜物と存じます。多くの卒業生がお世話になっておりますので、私もとてもうれしく思いました。 ・協議会につきましては、飯田校長体制の盤石ぶりを確認でき、安心いたしました。 江口校長から引き継ぐところ刷新するところ明確で、帝塚山学院泉ヶ丘のさらなる成長発展に期待できる内容であったと存じます。 各課担当先生がたのこれまでの取り組みが徐々に実を結びつつあるところに頼もしさも感じました。 ・保護者アンケートに関しては4段階評価であれば「とてもそう思う（最高評価）」のみを追求することでより改善度合いが高まることと存じます。複数年にわたる改善推進で一定の成果を上げていらっしゃるの、そろそろ次の段階かなと思いました。 またアンケートを改善度指標とするのであれば最低在校生の2/3は回収する必要があるかと存じます。未提出は提出協力さえ得られないほどロイヤルティが低いと判断せざるを得ないと思われます。

【教育内容（Q16～Q28の13項目）】 「海外留学制度が有効に実施されている」・・・100%（昨年度から引き続き100%の回答） 「部活動は活発に行われている」・・・95.5%（昨年度より15.1%増） 「体育祭、文化祭などの学校行事は活発である」・・・93.2%（昨年度より10.6%増） 「図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる」・・・90.9%（昨年度より6.2%増） 「生徒会・自治会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」・・・88.6%（昨年度より1.7%増） 「スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている」・・・86.3%（昨年度より0.7%減） 「他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。」・・・79.5%（昨年度より10%増） 「職業体験や卒業生による講演会を実施し、キャリア教育の充実に努めている。」・・・79.5%（昨年度より3.1%減） 海外留学は色々な要望の生徒に対応すべく、制度を設定している。そのため、留学希望の生徒が年々増加している。 中3生対象の卒業生からの講演会は、令和7年度は2回実施を検討している。中3生だけでなく、高校生も対象にする予定。	・身内を入れたい学校へということに関し、現在自分の子どもは本校に通学している。自分の経験から、卒業してからの交流が充実していると感じているので、自分の子どもにもそのような経験をさせてやりたいと思ったのが、入学させた理由である。 ・先輩の話、検察庁の話がすごくうらやましい。初めて協議会に参加させていただきましたが、保護者の立場として普段お世話になっている学校や先生方の取り組みをお聞きでき、改めて感謝しかありません。 ・初めて学校運営協議会に参加させてもらった。先生は見えないところで考えてくれていることがわかった。貴重な協議会に参加させていただきましてありがとうございました。 ・学校の先生は、子供たちが家族以外で最も時間を共にする身近な大人だと思います。先生との出会いでその子の人生がどのように走り出すのかといっても過言ではない。と保護者として感じております。もちろん学校の先頭にお立ちになる校長先生で学校は変わるといことはあるのかと思いますが、その中には飯田校長先生の本日のお話の目指す生徒像-目指す教職員-目指す組織、と全てが同じ方向を向いている学校。授業力と人間力というお言葉にとっても希望と期待を感じました。
---	--

【生徒指導（Q29～Q45 の 17 項目）】 「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」・・・97.7%（昨年度より 0.1%減） 「いじめ問題について、保護者と連携をとりながら組織的に対応できる体制がある」・・・95.5%（昨年度より 6.4%増） 「登下校に際し、生徒指導は円滑におこなわれている」・・・95.5%（昨年度より 4.2%増） 「不登校の生徒に対するケア体制が整っている」・・・95.3%（昨年度より 1.8%増） 「アンケートを実施し、いじめに対して防止に努めている」・・・93.2%（昨年度より 2.5%減） 「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」・・・90.9%（昨年度より 1.8%増） 「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」・・・88.6%（昨年度より 8.2%増） 「ICT を利用して授業を行っている」・・・86.4%（昨年度より 4.9%減） 生徒指導項目に関しては、6 項目で肯定率 90%台、2 項目で 80%台であった。 泉ヶ丘駅でのバス乗車指導、下校指導が毎日行われている成果が得られた。 年 2 回実施している「いごこちアンケート」により、問題や悩みをいち早く把握している。そのような生徒に対しては、担任、養護教諭、2 名のスクールカウンセラーを中心にケアを行っている。 月に 1 回、アドバイザーを招き、学年教員、養護教諭、スクールカウンセラーによる会議を実施し、その状況を共有している。	
--	--

3 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み	評価指標	評価	課題と改善策
教育力の強化	Ⅰ 進路指導 ・ 生徒一人ひとりの進路実現 ・ 現役国公立大学合格者数の増加	・ 通常授業の充実 ・ 定期補習、夏期セミナー、冬期セミナー、2次直前対策講座の充実	「様々な進路希望に対応できるよう、教育課程（選択科目など）は適切に整備されている」（保護者アンケート Q1） 目標肯定率：90% 「学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げている」（保護者アンケート Q3） 目標肯定率：85% 「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」（自己評価アンケート Q35） 目標肯定率：90% 「大学進学に向けた情報は、ガイダンス等を通して生徒・保護者に十分提供されている。」（保護者アンケート Q9） 目標肯定率：80%	【肯定率】 中 89.9% 高 89.9% (令和5年度は 中学 86.9% 高校 88.4%) 【肯定率】 中 81.0% 高 81.1% (令和5年度は 中学 81.2% 高校 76.9%) 【肯定率】 90.9% (令和5年度 89.1%) 【肯定率】 中 78.0% 高 80.8% (令和6年度は 中学 68.8% 高校 82.3%)	令和7年度も6月と11月の年2回の授業見学を実施する。ただ、見学教員が減少傾向なので、教科主任、学年主任による呼びかけを実施する。 放課後の補習は全年間とも必要に応じて継続実施する。 高校3年生では、例年通り夏期セミナーを実施予定。 また、高1、高2生は夏休み中の補習授業も例年通り実施する。 大学進学に向けた情報の提供は継続して行う。高校生にはもちろん、中学生に対しても多くの情報を提供できるように、進路指導部を中心に実施する。

	2 学習指導 ・英語検定試験対策の実施 ・ICT 機器の導入	・オンライン英会話を積極的に導入し、聞く力・話す力の向上を目指す。 ・映像を取り入れた授業の実施。	「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」(自己評価アンケート Q35) 目標肯定率：90% 「ICT 機器を利用して授業を行っている」(自己評価アンケート Q36) 目標肯定率：95%	【肯定率】90.9% (5 年度 89.1%) 【肯定率】86.4% (5 年度 91.3%)	オンライン英会話を引き続き実施だが、それに代わるプログラムも検討している。 ICT 機器の使用に関する肯定率が減少した。
	3 生徒指導 ・基本的な生活習慣の確立 ・清掃の徹底、挨拶の励行、遅刻の防止 ・安心安全な学校生活の充実を図る	・きめ細やかな遅刻指導、マナー向上の呼びかけを実施 ・生徒指導部教員を中心とした泉ヶ丘駅や校門付近でのバス乗車指導の実施 ・定期テスト間に 3 回以上遅刻した生徒に対し、早朝登校指導を実施 ・月 1 回、アドバイザーを招いての教育相談ケーススタディ会議を実施。 助言を受けて、不登校気味の生徒の	「学校は規則正しい生活習慣が身に付くように指導している」(保護者アンケート Q13) 目標肯定率：90% 「登下校の安全や交通マナーに関する指導が十分になされている」(保護者アンケート Q18) 目標肯定率：90% 「学校は保護者の悩みや相談、問い合わせに丁寧に対応している」(保護者アンケート Q28) 目標肯定率：90%	【肯定率】 中 87.0% 高 88.5% (5 年度は 中学 87.9% 高校 88.4%) 【肯定率】 中 88.0% 高 91.1% (5 年度は 中学 90.6% 高校 94.6%) 【肯定率】 中 89.6% 高 86.0% (5 年度は 中学 88.9% 高校 84.6%)	中高とも高止まりの状況。一方、マナーに関する苦情は完全にはなくなっている。 日頃の指導を継続する。 ケーススタディ会議を月 1 回開催し、アドバイザーからの助言をいただく。

		ケアを行う。	「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」(自己評価アンケート Q37) 目標肯定率：97%	【肯定率】97.7% (5年度 97.8%)	
	・ いじめの防止、携帯電話の使用方法について	・ いじめ対策アンケートの実施 ・ 人権道徳教育の実施	「学校は生徒からの悩みや相談に親身になって対応している」(保護者アンケート Q14) 目標肯定率：85% 「アンケートを実施し、いじめに対して防止に努めている」(自己評価アンケート Q30) 目標肯定率：95%	【肯定率】 中 85.1% 高 79.8% (5年度は 中学 82.6% 高校 78.0%) 【肯定率】93.2% (5年度 95.7%)	年2回のアンケート」で生徒が困っていることを知り、対応する。また、STAND BY も用いて情報の共有を行う。
	4 特別活動 ・ 自主性のある活動の促進、学校行事・課外クラブ活動の充実	・ 生徒会活動のより一層の活性化 ・ 課外クラブ活動への積極的な参加の呼びかけ	「生徒会・自治会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」(自己評価アンケート Q20) 目標肯定率：90% 「部活動は学習との両立について配慮がなされているとともに、生徒に十分な指導が行われている」(保護者アンケート Q16) 目標肯定率：	【肯定率】88.6% (5年度 86.9%) 【肯定率】 中 76.9% 高 77.5% (5年度は 中学 73.8% 高 77.3%)	中学校の全校朝礼は継続して実施。高校生徒総会も実施。 また、生徒会の専門委員会を開催、問題点や今後実施予定の事項を確認し、実施していく。

	・キャリア教育の充実と大学見学の実施	・大学見学や卒業生によるキャリア教育講演会の実施	80% 「部活動は活発に行われている」(自己評価アンケート Q22) 目標肯定率：90% 「職業体験や卒業生による講演会を実施し、キャリア教育の充実に努めている」(自己評価アンケート Q28) 目標肯定率：90%	【肯定率】95.5% (5年度 80.4%) 【肯定率】79.5% (5年度 82.6%)	同窓会主催の卒業生による講演会は年2回に増やしていただく予定。 Zoomだけでなく、対面形式で実施する。
組織力の強化	組織力の強化	・学年主任と中心として学年での報告連絡相談を徹底し、一貫した対応を行う	「教員はチームワークがとられており、一貫した対応が期待できる」(保護者アンケート Q25) 目標肯定率：中 85%、高 80%	【肯定率】中 81.4% 高 81.3% (5年度は中学 81.9% 高 79.4%)	ようやく高等学校も中学校と同じく80%を突破した。教員1名ではなく、チームで問題解決にあたっている。 中学部長、高校部長と学年主任がうまく連携し、解決にあたっているのので、継続していく。
財務基盤力の強化	入学者の確保	・説明会を実施	「入学者を確保するための十分な募集広報活動を組織的に行っている」(自己評価アンケート Q15) 目標肯定率：95%	【肯定率】97.7% (5年度 93.5%) 6年連続で90%以上である。	定員を決めての小規模な学校説明会を実施。 好評のため、今後も継続して実施予定。

	キャンパス の整備	・体育館の空調設 備工事 ・体育館のカーテ ン修復工事 ・物理実験室の改 修工事	「施設・設備は、よく 整備されている」(保 護者アンケート Q19) 目標肯定率：90%	【肯定率】 中 88.8% 高 87.0% (5年度は 中学 88.3% 高 88.4%)	令和 7 年度はグラ ンド横のバレーコ ーの人工芝化、生 物実験室の改修工 事を実施予定。
--	--------------	---	--	--	---

※ 自己評価アンケート、保護者による学校評価アンケートは 1：達成できている 2：ほぼ達成できている 3：あまり達成できていない 4：まったく達成できていない の 4 段階に分けて回答。肯定率とは、全ての回答における 1 と 2 の回答の割合のこと。

肯定率 [%] = (1 と 2 の回答数 / 全回答数) × 100 で計算した。